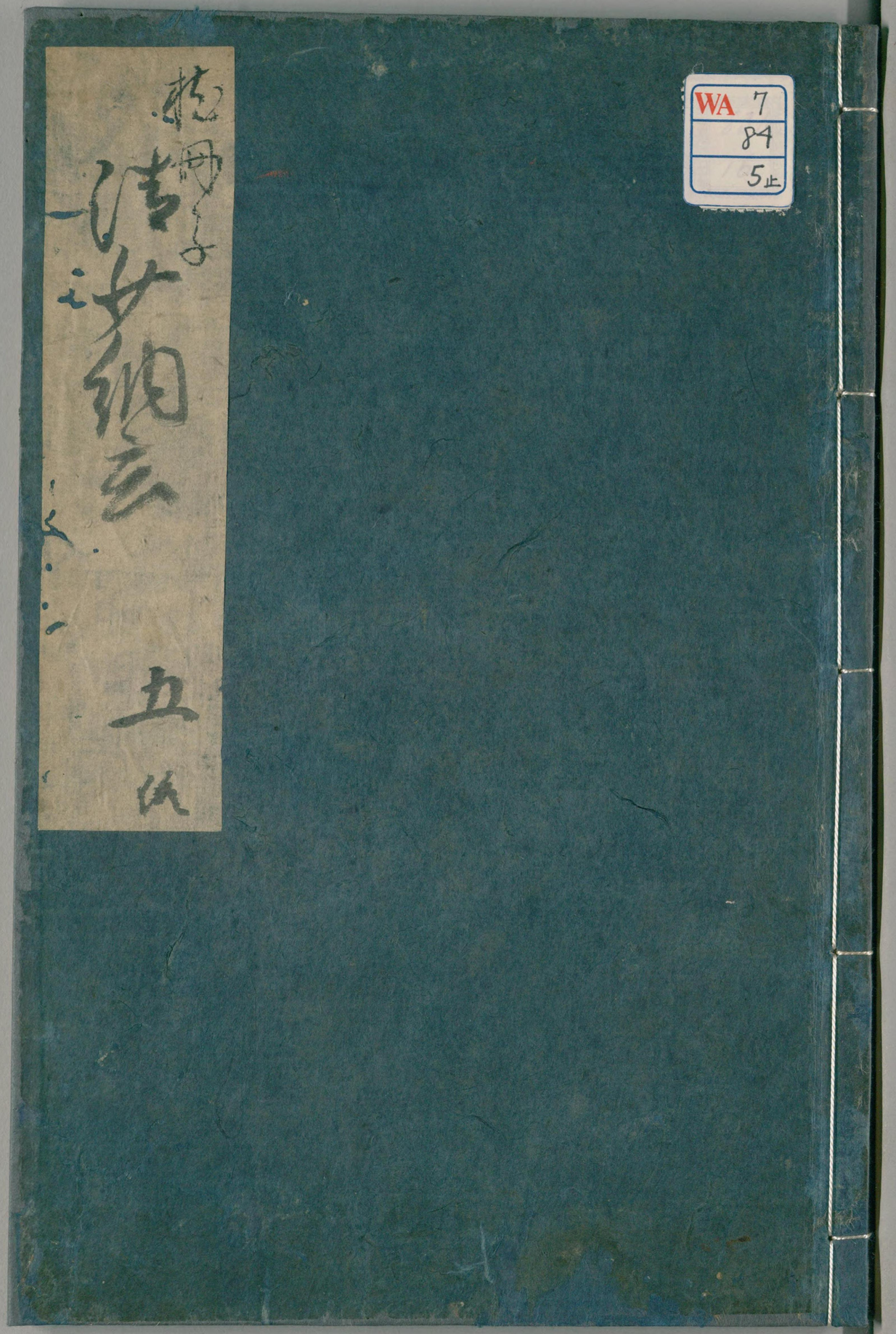


WA 7
84
5止

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』 請求記号 WA7-84

ガラス使用

阿波國文庫

不忍文庫

大正
4. 2. 27
購求

下うき務い
冬を法くし、うひ務めうき
あさな升、そうろうき務、
あふ松のわ務を、
かたをハ、あうまおうき死、
松乃毛八幡、あの圖乃浜門まで
いとめて、毎日、行幸なとに、
なさいものそう、大原の、
秋うんかを法う也いなき春日、
さんいとめて、多く学ん、
き社う、平野を、いく

なるやのまし、をもろくいな
かそみあ一面やうこいひ一こ
ひさなをれおほをうくまてを
まきの人ゐを要之ゟ尋一思ひ
ひさうさ連うりうさんこ
がうやさ
濡い
かうさ、いうくさ、みう
やを、

ま詠や、ありまや、
時養をれやうたうこいう
なとみてくきあやめふく
なやうて石んをれなふう時
ごきのをねいをととなとやう

牛八なとうそさとひさる人をりへ
そうるをいう々多田れうこいう
れりこともの一さうあそやう
そうるに又山ふれやのこう
成信中ねい入道兵部にうや
れう一まよ名うく人をいとゐう
うをけっむすめれ里をうまで
里ありふなるまでみる一時
暁みいくそおよひおう一時の月みう
なのひくんなをすうこなとこ程そ共かこつる
ねるねうしく人のうく人なる
乃ら面ひまふいみなとをう
ろきのうそそうろきの

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』 請求記号 WA7-84
ガラス使用

ヤリ戸

よもされかうの事あめ秋をへくれいうちきう
見ゆれ人のあしひもいそ一ねんあさつてきこ
らんかれ一夜をあさて一夜を思ふ本の里となりまこなる
あてうそ月比を見こしに、たれ得うなくてをくうん人
のかゝほたりあ一をあんとはさうみえんしのあく
あはえせ一まこそ物思人のれいよやなうむ物
見こり思ひこり堂う女の心あるをとをん
くらひくあまるさいくあよすうなとの
あかまこけうくかえお思ひ牡鹿るう里一
まんと思ふ人の志まさるあを結つあかめう
おきこあ一めうはちを遠くやそまも堂も忘のらん
くんされと夜のふ原時いあ一うけきまて
それくこうは堂うこそとも覚こはうそうかな面れ
めてなまおとをたおえはきうむいうたう
きくこう原こ孫うとそ人をも十月廿一月をを一年すくな
まとくみり原こ孫うとそ人をも十月廿一月をを一年すくな
まつて七八年ふ成てる思おうむいうたう
と覚を要あふまう里をあれお人めはくむ人ふ掛
あうとかなうんたちなうくしみと夜
原へかうんをいとくめなやの一番うのまうをう里
うわとをを思ひ原う掛てうのまうをう里
志うまも、ねうう堂おえうも、ふくい海のやうに
おはゆれたわをあふこ原へくう物語を行うわれう
き書ふなくことをも、あうるめをも、見ふおかうう掛と
月に堂うを思ひおくむみをりかをりやう

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』 請求記号 WA7-84
ガラス使用

ロウサウ

シコスル
アケメデ
キハーシ

カサこそ

ヤラカサ

引墨

セナブシメガ

チノト
ホイヤケ

[illegible]
あまをいとう（おほをこと）まし〳〵て思ひ
掌おの君いをれ〳〵を書（ふみ）紗へて
いふ〳〵てをれ（ば）み〳〵かさとをし（すゝ）しきん
〳〵〳〵わつらふきのふ（ふか）那
ふ〳〵ん〳〵わ〳〵ふをしもちと世のふちにる
暁（あけ）ぬまよ（ひと）〳〵くなりこの君（きみ）
〳〵ふへ（ば）兼（かね）残（のこ）まて給事（たまふこと）乃（の）
心ちすまと（はと）雨（あめ）いさん事（こと）を
雪（ゆき）九（ここの）うへ（かた）
とろ〳〵とまり（ぬる）
わ〳〵ふをふしのかつらをかなるまやなる給（たま）ん
をゝむとそ、あ〳〵つゐに（ね）
〳〵〳〵ほ〳〵あそいとみ〳〵
ら（ん）ふ（ん）いせ見（み）ひ（ん）ふ（ん）ふ（ん）ふ

風なとのいたう吹はまことうちひのいとうちこほり
ほちなとこそもうくうちふるまひうへをやく
をしなへさうちふきよりのやうにあれこの夜の月の
ちとくあかきよりもおもしろくおほえてなほ
なとをしへそこはやうなるみちのくの海のやうまて
ちくうちふるまひうへをやく
車ヤケス
白キ衣トモアマリ
ちとくあかきよりもおもしろくおほえてなほ
まとひうちすてまをうけ思ひやりをおくをもりいれ
あけゆくそらの月のようにも色こうそのまの
ちふきなと七八りうちきなかれきぬいとをかしきやうなるに
うへをきたるうへをきぬのさまをかしきやうなるに
うちとけてやなとをかしうおもひつゝけらるゝ
ともあまのさ山さき紅なをきこそかしそのまの
白きひなとうちきたるまゝいぬ
トンキミ
ちとくあかきよりもおもしろくおほえてなほ
ちとくあかきよりもおもしろくおほえてなほ
ちとくあかきよりもおもしろくおほえてなほ

見習

物語し人の接うち手なふくれを拾ひり勢人のみこ
なをそそるり拾とまに見在事うきえひはきこう
ろう人ものあるをきよあようちゐらひきいまあ
なをみりて要うへぬをおうーまのらんおりか
そえあと見いまて思りんさ風みーてりさーたて
なとせそやうきん人えあーまきう拾なものいと
ゆうーおそをーうねやあろん

見あーひをおりの
わくひちことも立まうーうぬをせもの

うちとく海ーお拾
物ち人手いそ海くん人さおれをう一玄志ち拾たお
よわいうーなくそ見ゆおあれみち風ういらくう流
ふ海のあもてのそーうのとふあ拾みとるをれうち

なあを引わさしそうち拾みひんてりそうおそ物ーお
氣色もなきわりき女乃なこんあそのあきこみひの
きめく見ろやう成め海ともおろとりん人物とーそあ
吸いこーう宇うこひうんいとあ海ーうあんこやあれ
人あを見世をう海物う思ひ玄風ふ物そんまあ玄風子
海乃拾そくあまうーお風を学これと風子
へまあみ玄気ほくあ風物とおにあみなこのうけきう風
なとまさりりなぢりなるまつる海とまおんこれうー
物え玄あみれりてありを人ひうわいくーれりのこそ
あけまよ海ーきみりさまそ風そのおき物ま
のりてち気物ーやまおてそこひな
ろーすす手易なとあらんうーいとへさまえ水
きそれい一天そうるふれなにおすともれいさてう

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』 請求記号 WA7-84
ガラス使用

ヤカメ
ハヤシ
モカウ
ワヘト
ヤウシ

おそろしきものあり。うそをまことにいひなし、
人をもせめころし、大なる松の木なども
二三尺のうちはくさらかなる所をえらび
なとしてそこはまことにえぐりのけ、
そこへおとしこむ。あるいは木のえだ
などにてかくしおきて、ふみたおれたる
ところをうちころすなどいとおそろし。
ものをうけてのち、
ふるのよきにてあれば、
ものうちをあらひ、
ものをうけてのち、
あけなどしてそこへ
ひとをおとしこみ、
ころしてのち、
ものをうばひとる事なり。
こころえおくべし。
ものをうけてのち、
ものをうばひとる事なり。
こころえおくべし。

ハシカ
ワトメテ

アハノカツキ

とかく名たかきものとかくにやとも
見ゆれど、私とつけてそうういきおひの
ありさまをとめてなどのやまとことばに
あるべきにこそ。辺土白波の徒に
なりてゆけばころころきん人をも
うばひとりしそのやうにて海へ
と投入れなどするやうにきこえ
と投入れなどするやうにきこえ
見ゆれど、私とつけてそうういきおひの
ありさまをとめてなどのやまとことばに
あるべきにこそ。辺土白波の徒に
なりてゆけばころころきん人をも
うばひとりしそのやうにて海へ
と投入れなどするやうにきこえ
と投入れなどするやうにきこえ
と投入れなどするやうにきこえ

ありさまなどはかたちたるやうに
うち忘れうちに和歌など入れたる
などをひろげたるに
おもしろきなどいとあまたあるを
ただ見るかぎりは
おもしろきことのみ
見ゆるを
ただ
ひとつ
ひとつ
ひとつ

オサメ

そうしめふに例乃おいたるふけ
一二人ばくうせさ、はひやうねこ
なりにみるかくれみの、まくも
孫ふるさ成会してさうねふ
あけ約ね嫁と独あんに大正ん
おをかなくまめよとそぬへ事
思を、うさて、伽しふやほうむ
あうてさまさ重ねせめうへの
てすあ一孫ふう弱竹へ極と
あけおる五、かくは魔みを
事なと文その所おふをわう
竹りね狂か、おさめうわうをは
而五里へんと云てかく
志くんたね思つけことをのそれそらうれさまれふ
りふて打そ治一うねふくまたふくに吟人おさ五と
思世、う人をおおと治う後あり行りはりていふれを
そふや易さ世ふ、ふ大納云為乃教めいまうれ孫ふり
をれと治うすさ云為をたうう
たうふうそ、一人孫ふるさ、ふ大五
みあるぬやうふたりの事うふ世
経、打かふふ五そめそ成けう弱さ世
にのう世竹ぬ、和中斗まらうはに
か、扱そくらんとの竹へそ、をうきぬへ、ひやう幽ふ
うらけくいくに、月のいこしをありくそふをしれ
いさ志治う思ゆるにさぬふなるうふさくく通
速て独なひう為ねたう治なしひてぬてなそを九

ガウチ

まくにゆうしの体ぬ月に打いこをむしのへ乃ふ
のみーうめてさーかやうは　たよひとふとそて笑
外へといくのてかお紙いやそ
乃ふ九沼めれ雪みくーを面そいやの先まくれ
つか論ふねさまをれ乃こんあるいくーきれもをく
ふきそうひめ張見さかひ祖にうへ重へ
ホさめりんとそなんとなきぬりうのをふまくる
何事ーそやとへそ何のうさ海み雨へ海うりたりし
まふきさの紅ねる私の座は打めりうそ用れハかう
なのやうに人元森をみそりをけーへさ耳んさ姫
ひまつされみまま降こて何々なふおまう
できそ何ろこそくさをる降てまをよと聖に
神て何わ々ふわうそんのれとやけ何思へくて

メンザク

なしいさくお雨をとうてふくこんるらひなくふ
雲書て先をとう江外へとそのひをうと
みくーけ座守おそいうひわうひたまふ
ふりくそこうれた江さんの家ん座けさりとそいと
お一くるて外めふとそとうをさまい、なふのはさん
ふみまくさをりやをそうるのそうるの月ふ
ふうみの何うむ、お江くうわにふ江へ先よめ
ーー雲云いくのてかそさめふあるあさにかうまほうてを
とへん人ふも見せよ呉九めせとうと見うく止へ糸
おそおりうめて座ふ雨張えそを行をう思ふそ何
りうひ海とひさのおわぬまい人ふやと見をほうむさ
雲也ていふ服さくんふにまるてまくれあい

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』 請求記号 WA7-84
ガラス使用

メオヤ
オオヤ

メオヤ
オオヤ

サヽ松
サセモノサ

ニヽナノ松

メオヤ
オオヤ

サヽ花
サセモノサ

ハナノ枝

コヨナシ

あふひのうへはなをのこしつゝみのうへ
ゐなかうた
○かうきぬを
あらきぬのそでありえぬ揚そうを
○まを
おほうをとひら
おとらのを
むらさきおきそきかりてたかさうへの
のよけまとまをあまるさ
○あやうそんを
あふひ
○うすやうにこれゆるさ
けまをあまるさ

わらはあのきんむ称をとをきまをそいとみくる
まをてきかへ事おのをねらひ
ををうそよけまたたのゆ
もをは女房のうそくまとをかめ男
あまるさぬるかかそのう
きよるうそくのたわ
ふそのあまの海やうみ称
えんなきねそうあちきをまを孫
をれいと一六中おをれ口称
やまひを
むかのをのれ事とくそこのとなく酒くそ思
すへれそのの人のうこいをうりくそけまり
すそあさやなるういやよくあえていそうう亀志

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』 請求記号 WA7-84
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』 請求記号 WA7-84
ガラス使用

人の世うそを作事などのおほう侍けりそのまゝ
おそ〳〵めうわおくまでいひみく〳〵巻事みゆ
みく〳〵そうり〳〵き人乃和おこせそう巻事おもなのふ
あるようふの思いなる事ゆつけそうまのへうくい
のとめ人〳〵ま〳〵四位又位を冬六位い衣ふあるそう
巻をそ巻かうそ男と女をおう〳〵海乃ふめ通
衣乃君はてあくふもう〳〵ふよ〳〵所定むく我神
海と通見〳〵里そく仕人利てをのはう云へうあ里
まゝてほ〳〵らひいう人をいやそうよなゝ孫それ侍ち
にれうたふやうう〳〵く人のおかふまやうつ多てよ〳〵空
見ゆる衣空月とくに見れとあ多和う〳〵空見山神巻
衣とをあまう衣見ほまそれめも只すう〳〵をそたてほ
ひやうぬれ巻衣とをいやとめて巻けまとみを巻う〳〵

人氏かいちいれうう〳〵うあそあまでよくお成てうとの
中ふを一川くようきおれつよふ〳〵ふ海ゆう多くよくなき
侍こそいなう〳〵めとまゆう侍こそひ〳〵けまう多く
このおくうあそいやなのやう〳〵けまちん衣所たそくふ
のあへうちて所巻とほくそたくそ衣なとて
おくふを衣あもてふや右そをれそまりそうや
をそきそをう〳〵おやてみるあいはい
をへ川なふみなそ也をこふ多くるつまそれのそふ
ようなめ里と見〳〵行ふ巻そあそう也み〳〵う三や
人ねさう〳〵おれこふ侍せうへたくこれさるふめ
里と思ふふあかりさいあの事や物語ををよ
もう〳〵物語を也ようろうろにいう〳〵へうち〳〵そこや人
とをれいひ海きう〳〵人いとふく〳〵をおれ中の巻

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』 請求記号 WA7-84
ガラス使用

とゝやいひなす人のもとに君達よりとて
心ことをきこえたり物おもひそめし
九月ばかりにやありけむ
うきふしをおりしもいかゞ思ひけむ
のべの露をわけこしやそのかみ
をえんとなるやうに見せて立ちかく
志とゞめおきてうけ出こゝろ
ばかり思ひ給へしかどもいとゞ
ふかくなりまさるやうにて
みをすてゝすゞろありきしてと
なる月のかげよりはまだ
そのをうなおにかゝりてそ
出まほしき人の車とゞめ
うやうにいひこしたりしかば
志ふかゝりしかばなるべし
ありかうしてまたえゆりあはで
暁がたの人の涙かこちがほ
をしるべにてやどりしもの
めもきれおちにけりとて
名残惜しがりてうち
ありのまゝにや
ありけむ

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』 請求記号 WA7-84
ガラス使用

うらやすくしおれひとう
ものをいさゝかおもくふこゝろあ
乃おかおさまことをあに
まやう成ととをとうせて
うふをいとたうやうまを
をひまもへうひうくを
ぬまそれうしるひて
うひ外人御護法をまたう
おそ鬼去とまなとのう話
ほわみたう空るてあ
なるりふまとりんこ
ちりなうふうまひあけ
う後つ人のちり人なとき

乃ものをぬく云ひなほく後ひなとひろかふ
ゆとにふ落しとそはゆをとみ面にきり浦く社とを
りるお人くを仏ととなくんもりさけなうひ
ぬさらやひとへなをきよを
なへうくそいわれいをき
ゆうことりわいく勝なとし
うらにとあそ思ひつまめさま
いのな面高十ありほうむとる
みりけくをなりへぬまとこ
あ一ふくりふさそやうふ
名ここうおそうしけ也ち
のりとおもの空待わ却へそ
出るとをそーうちそうたう

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』 請求記号 WA7-84
ガラス使用

なんてするうちとなりにうまを我もくをうるとて
ゆきかうへまよをなるべくしたとめてとくねたさい
ねるめやをしりて夜ひる孫しそ紙
人うそ今すみりけまうを出せかくもを法やめき
孫をれそようをてをうゆうみをこ一かうこ
ふ見かりたらん祖乃ひなきよ色くなる
人のをしひとへきそうまれしし
ひとへ同一とをさまと我秋かさ見みを見んこ
すの秋れと後生なまやなるむりのをう城
てみ字さうくまてのるたり等を法うひそてく色と
うきそそそもこれそうしの
事を人やを見んをと思ひ
ねのありとり衆あひめて所にあひなく人気ああん

（文うたりのトヨリコマデテ下ニアリ）

ゆきのひをくなと志ひへまよおくあまこんきようか
くたりまおりふと後世紀たの人すこそなるみけま
文此おる用のなくれまわめ人ま一法そうし城
あまふ何をうくう一う人乃法おめを史紀とひふ
みをかんうく世外人敗とのくさ通り勢一を拾う
ありそを志待う処とこ一ういは再よそたまい珍
たまうをひやしきをあ一やなふやを法を世んたか
うふ城のうす城書ほくさむとせ一みいまりの覚思
事そおほうふやえ方あまもを世中みれう一玉事を
人のめてそ一なと思ふへまよ事教えをおく云なとも
ま意色虫ををひ出ふそうはあそ思ふりとうりを
里海一ん三ひる里先ら拾めい心ひとみをのけう
思ふ事をえをふまふ書何そまを酒みたちう里人

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』 請求記号 WA7-84
ガラス使用

○うすやうすきこい　そろめ
かりやとそめ　あはきをよ
○そろそのあいかものまねる
○みそ、みもあらくをみめをよ
○すきは　ほろろ
○こひ　うちのひ　そめうり
むめもるふこい
○くりはなをは　えんをてそ
○かるみい　八すもん
○海松色い　くくさ
○大そけい　あいろ　あはうた
○そのそろひいかる　そそろ

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』 請求記号 WA7-84
ガラス使用

○さてみやこ　かへりさきのくに
○ゐなかをはなれてふねのりするに
　ゆくさきはるかにおもひやらるゝ
　おきのまつ
　ワラウタメ
　有ノハカヒセメ
　あまつきぬつゝひせまてそてにそ
　おきたゝるなみのしつくあやにくき
　うらふのしほひかたしのひくあしの
　きるしてみるうきよなりけり
　ゆくさきを海おそろしとおもふ
　ふねのりの心ぞ
　こゝろ
　けるの女房あるさうひの
　ひさゝゝともあそやうひの心
　るつゝにそゝひ行へき
　せゝといふことをみる
　あつまりたるをまの忌
　とうんろゝいふ
　ついるいふ海の忌
　人ゝゝたゝおそ
　はろひをんかゐて
　ゐねとそふろつく
　さけのゝいそ
　けゐすをのとを

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』 請求記号 WA7-84
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』 請求記号 WA7-84

ガラス使用

ゐるのふことなくて
あれそ家ゝよりと花すゝきの葉そひさかの
くゝ海るくあうくすゝこのうりて見ゆるみそや
はなまこゝ海よりうそ月あけくいあ
ぬ風のそと　池あるかのなる白のみそいを
あくれるまゝぬこもるてあひろうて水も
見こるのうう一夜もいくるふみわうう神
くゝるうそたるこそ伐ひくくるのわくしそかいこと
志くこゝそ衣ふれいつをすくそ池あかれいあるまゝ
そうみもこほうきくあるとにうくまふ
もあくれなとはくうひたうもうちねて
みそさからにあれあ海ことれもあ
うりいきうくうてみそそかおてよすてけい
いるのかそを名のう

ゐうきぬのうら
をみくもよう海をうら
くそねくうもしうきい
しかの言のみそうの
ほそる暁空の人さくそ
へをおくそまうんそろきあさそ
ろしのもるのみそあかおもあうきてたち
あくきるくてはぬうりあもそあくき
なるい海てたこそねくそうそもも
志う海さ心ちやしいはくもそれのあうう
見んそうの紀人今のまうう行へるはうりのまま
そうのうとそそくひたとすま（くしきぶ）ようこ
ひぬめうそはうのくを花そあう

ヒメレンワメ
クロガキ

キョカラヌ法師

アイナリ

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』 請求記号 WA7-84

ガラス使用

伊勢權守長徳元二年叓也此草子長保元二年叓多書之右書加欤

源経房朝臣 西宮左大臣二男 母九條殿寸五女号愛宮
後賢卿同母弟

永觀二年正月七日従五位下 一品宮御給 母同高光女将
八月十三日侍従 十六
十四日従五位上 寛和二年十月
元年三月四日右近少将 永延二年二月皇后宮永祚
権介四年 正暦元年正月侍
従四位下 長徳元年正月七
廿日 伊勢權守二年七月
廿五日右近中将 四年十月廿五日左中将 長保二年
正月廿四日従四位上三年八月廿五日蔵人頭 堪
十月十日正四位下四年二月廿日内蔵
弘二年六月十九日參議中将如元

橘則季 勅命ヲ以テ一男清奥守ニ
（朱）勘当ヲ免ス橘元愷ト
天喜五年二月十日非違
十二月廿日補検人（朱）進士 従六位加四年
亜六年六月廿八日（朱）卒 （朱）八

住文不持ち芒本約束久ク
書寫之依無證ヲ不審但舊見ニ
及勘合舊記ヲ注付時代年月未ヲ
案欵、

（朱）按納言
安貞二年三月

（朱）按大弁
従二位行権大納言藤原朝臣 判

（朱）按土佐ノ
文明七年仲夏廣橋亜槐送

（朱）實相院

進后本下ス本未両冊見ニ香余書寫不ヲ及也
嚴命ニ（朱）點ヲ毛亮ニ彼舊本不及加ヲ句ヲ新
寫讀而欵容易ニ故ニ校ス焉、

（朱）勧修寺
正二位行權大納言藤原朝臣 敎秀

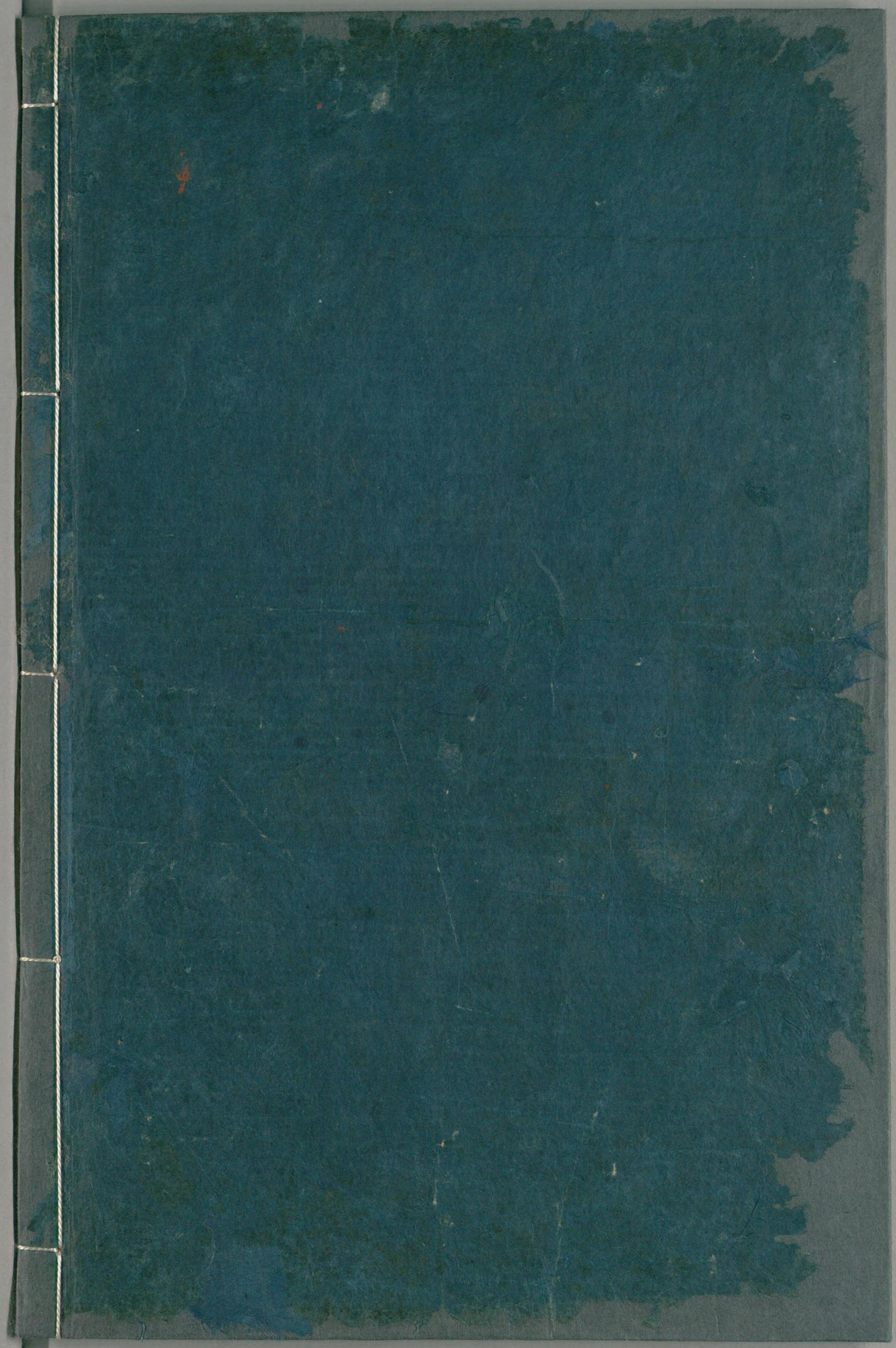
阿波國文庫

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84
ガラス使用

旧請求記号
831-16

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』 請求記号 WA7-84

ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84

ガラス使用